

# U.S. Indicators

## 米国 非製造業部門の堅調さ維持を示す(15年3月 I S M非製造業景気指数)

発表日：2015年4月7日（火）

～エネルギー価格下落等が下支え～

第一生命経済研究所 経済調査部

桂畑 誠治

03-5221-5001

### I S M非製造業景気指数

	総合指数	活動指数	新規受注	雇用	入荷遅延	受注残高	仕入価格	新規輸出受注	輸入	在庫変動
14/03	53.7	54.2	54.8	53.7	52.0	51.5	58.1	49.5	50.5	48.0
14/04	55.3	60.3	58.3	52.2	50.5	49.0	60.4	57.0	55.5	55.5
14/05	56.1	61.1	59.9	53.2	50.0	54.0	60.2	53.0	55.5	55.5
14/06	56.3	59.2	60.4	54.5	51.0	53.0	60.1	55.0	53.0	53.5
14/07	57.9	61.3	62.6	56.1	51.5	53.0	60.0	53.0	54.5	51.0
14/08	58.6	63.1	62.1	56.6	52.5	54.5	57.3	52.5	51.0	51.0
14/09	58.1	62.0	60.5	57.8	52.0	52.0	55.2	57.5	52.5	52.0
14/10	56.9	60.5	59.3	58.3	49.5	51.5	52.8	53.5	56.0	49.5
14/11	58.8	63.4	61.0	56.3	54.5	55.5	55.0	57.0	53.5	55.5
14/12	56.5	58.6	59.2	55.7	52.5	49.5	49.8	53.5	50.0	50.0
15/01	56.7	61.5	59.5	51.6	54.0	49.0	45.5	52.5	46.5	52.5
15/02	56.9	59.4	56.7	56.4	55.0	53.0	49.7	53.0	51.0	54.5
15/03	56.5	57.5	57.8	56.6	54.0	53.5	52.4	59.0	55.5	49.5

(出所) I S M

### I S M非製造業景気指数は56.5と前月比0.4%ポイント低下

15年3月のI S M非製造業景気指数(季節調整値)は、56.5と前月比▲0.4%ポイント低下し、予想と一致した。構成項目では、新規受注、雇用が上昇したが、活動指数、入荷遅延が低下した。総合指数への構成項目別の寄与度をみると、新規受注(前月比+0.27%ポイント)、雇用(前月比+0.05%ポイント)が押し上げ寄与となった一方、活動指数(前月比▲0.48%ポイント)、入荷遅延(前月比▲0.25%ポイント)が押し下げ寄与となり、総合指数は前月比▲0.4%ポイント低下した。

3月のI S M非製造業景気指数は、小幅低下したものの水準が高く、非製造業部門の堅調さが持続していることを示した。悪天候が若干影響したものの、エネルギー価格の下落や国内需要の強さがプラスに働いている。また、拡大を示す業種が全18業種中14業種と広がりを持って拡大している。

### 活動の拡大した業種は14業種と多く、広がりを伴った成長

活動の拡大した業種数は、全18業種中14業種(前月14業種)、縮小した業種は4業種(前月4業種)と前月から変化しなかった。また、2ヵ月連続で減少した業種は2業種にとどまっている。

拡大した業種(拡大を続けた業種には下線)は、企業経営・支援サービス、不動産・賃貸・リース、宿泊・飲食サービス、輸送・倉庫、農林水産業、芸術・娯楽・余暇、小売業、金融・保険、行政機関、情報、卸売業、専門・科学・技術サービス、医療・社会的支援、建設。医療・社会的支援では、3月の売上は強さを維持したと回答。金融・保険は、現在の事業環境は良好と指摘。輸送・倉庫では、燃料価格の下落が収益を改善さ

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

せたと回答。小売業は、3月に前年より僅かに増加したと微増を報告。卸売業は、2015年の全体的に拡大を続けていると指摘された。

一方、鉱業、教育サービス、その他サービス、公益と4業種（前月4業種）で変わらなかった。

（注）下線は拡大を続けた業種

### 雇用DIは非製造業雇用の堅調維持を示唆

主要項目をみると、雇用DIは3月に56.6と前月比+0.2%ポイント上昇し、堅調な雇用の増加を示す水準を維持した。非製造業部門雇用者数（3カ月移動平均）の増加基調が3月もほとんど変化していないことを示唆している。

### 仕入価格DIはインフレ圧力回復を示す

仕入価格DIは、3月に52.4と前月比2.7%ポイント上昇し、4ヵ月ぶりに50を上回った。水準は高くはないものの方向性としてはインフレ圧力の回復を示している。

### 輸出入の拡大を示唆

3月の新規輸出受注DIは、59.0と前月比+6.0%ポイント上昇したうえ、拡大縮小の分岐点である50を12ヵ月連続で上回った。世界景気が緩やかに拡大するなかで、輸送量の増加などが寄与した。

一方、輸入DIは、3月に55.5と前月比+4.5%ポイント上昇し、50を上回った。輸入が、小売業、卸売業を中心に米国内需要の拡大持続やドル高を背景に増加傾向を維持していることを示している。

### ISM総合景気指数は55.5と高い水準を維持

非製造業景気指数と製造業景気指数を合成したISM総合景気指数は、3月に55.5と2月の56.1から0.6%ポイント低下したものの、水準は高く景気が堅調さを維持していることを示唆している。

また、ISM総合景気指数は、11月の58.6をピークに3月にかけて低下傾向を辿っており、GDP成長率の鈍化と整合的な動きとなっている。ただし、1-3月期の実質GDP成長率の下振れほど経済情勢が弱くなっていないことをISM総合景気指数は示している。

